



令和4年1月4日



あけましておめでとうございます。年末年始のお休みは楽しく過ごせましたか？新しい年を迎えて気持ちも新たに、子ども達が健康で楽しい毎日が送れるように、今年もほけんだよりを通して病気の予防法などをお伝えしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお祈いします。

インフルエンザ

悪寒・急な発熱・関節痛に続き下痢や嘔吐、咳くしゃみ、喉の痛みなどの症状が見られ合併症も伴うので、インフルエンザの症状かな。と思ったら医療機関で診てもらいましょう



感染症胃腸炎

ノロウイルス・ロタウイルスが原因の胃腸炎数時間前まで元気だったに突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。吐き気がおさまるまで様子を見て、顔色が戻ってきたら経口補水液などを少しずつ与えるようにしましょう

*嘔吐物、便から感染するので
早めに処理し消毒しましょう



乾いた空気に

注意



皮膚炎

乳幼児の皮膚は角質層が薄いので水分をキープしにくく、乾燥しやすいため外部からの刺激で傷つきやすく、感染もおこしやすいです。カサカサしていたら保湿をしましょう。お風呂上りには、しっかり水分を拭き取り、保湿剤で保護しましょう

低温やけど



痛みや熱さを感じることなく、ゆっくりと低温で進行していくのが低温やけどです。表面は軽傷でも内部はダメージを受けています。カイロやホットカーペットなど長時間同じ場所にあてていると危険です。直接肌に触れないように低温やけどに注意しましょう

お知らせとおねがい

◎ 園児や家族内の方が、発熱や咳など風邪症状がみられる時は登園を避けて下さい。この場合の登園再開は解熱後24時間以上経過し呼吸器症状が改善傾向となつてからお願いします

◎ 登降園時、門での送迎は保護者1名でお願いします。
感染症防止・対策のため厳守して下さい



12月の感染症情報

胃腸炎 1名